



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年7月30日

上場会社名 田辺三菱製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4508 URL https://www.mt-pharma.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三津家 正之  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 御船 祥史 TEL 06-6205-5211  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	105,351	△2.2	19,304	△12.2	19,304	△8.3	19,741	△10.3	13,110	△20.1
2018年3月期第1四半期	107,708	2.1	21,986	△24.2	21,050	△27.9	21,998	△27.4	16,413	△22.8

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益（非経常項目）を除いて算出しております。

	親会社の 所有者に帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額		基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	13,959	△17.8	20,420	△2.4	24.89	24.89
2018年3月期第1四半期	16,981	△22.5	20,930	64.7	30.27	—

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	1,033,346	900,805	888,321	86.0	1,584.09		
2018年3月期	1,047,621	894,827	882,808	84.3	1,574.26		

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	38.00	—	28.00	66.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	28.00	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期（累計）	210,000	△1.6	30,000	△24.5	28,500	△22.7	29,000	△22.8	18,500	△34.5	19,500	△34.6
通期	435,000	0.3	70,000	△10.9	67,000	△13.3	67,500	△14.3	44,500	△17.6	47,000	△18.9

基本的1株当たり当期利益 第2四半期（累計） 34.77 通期 83.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は、添付資料「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照下さい。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	561,417,916株	2018年3月期	561,417,916株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	642,484株	2018年3月期	642,309株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	560,775,557株	2018年3月期1Q	560,988,065株

(注) 当社は、取締役等に対する業績連動型株式報酬に係る信託を導入しており、当該信託が所有する当社株式(211,100株、2019年3月期1Q末時点)は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法について)

- ・決算補足説明資料は添付資料「3. 補足資料」として掲載しています。
- ・当社は、2018年7月30日(月)に機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会(電話会議)を開催する予定です。説明内容については、プレゼンテーション資料を本資料発表と同時に、また音声配信を説明会終了後速やかに、当社ホームページに掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結損益計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(重要な後発事象)	11
3. 補足資料	12
(1) 2018年度第1四半期(2018年4月～6月)連結決算について	12
(2) 新製品開発状況について	16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年4月1日～6月30日)の連結経営成績は以下のとおりとなりました。

(単位:百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率
売上収益	107,708	105,351	△2,357	△2.2%
コア営業利益	21,986	19,304	△2,682	△12.2%
営業利益	21,050	19,304	△1,746	△8.3%
税引前四半期利益	21,998	19,741	△2,257	△10.3%
親会社の所有者に帰属 する四半期利益	16,981	13,959	△3,022	△17.8%

## 【売上収益】

売上収益は、前年同期比△2.2%、23億円減収の1,053億円となりました。

(単位:百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率
医薬品事業	107,708	105,351	△2,357	△2.2%
国内医療用医薬品	79,973	71,653	△8,320	△10.4%
海外医療用医薬品	5,938	12,948	+7,010	+118.1%
ロイヤリティ収入等	20,476	18,520	△1,956	△9.6%
一般用医薬品	1,160	1,204	+44	+3.8%
その他	161	1,026	+865	+537.3%

- ・国内医療用医薬品は、関節リウマチなどの治療剤「シンポニー」や麻しん風しん混合ワクチン「ミールビック」の伸長、2017年9月に発売した2型糖尿病治療剤「カナリア」の寄与があったものの、2018年4月の薬価改定や2017年10月のジェネリック医薬品事業の譲渡などの影響により、前年同期比10.4%減収の716億円となりました。
- ・海外医療用医薬品は、2017年8月に米国で発売した筋萎縮性側索硬化症(Amyotrophic Lateral Sclerosis: ALS)治療剤「ラジカヴァ」が大きく寄与し、前年同期比118.1%増収の129億円となりました。
- ・ロイヤリティ収入等は、ノバルティス社に導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」は引き続き伸長しましたが、ヤンセンファーマシューティカルズ社に導出した2型糖尿病治療剤「インヴォカナ」および同剤とメトホルミンの合剤に係るロイヤリティ収入が減少したことに加え、前年同期には導出に係る一時的な収益もあったことから、前年同期比9.6%減収の185億円となりました。

## 【コア営業利益(※)・営業利益】

コア営業利益は、前年同期比△12.2%、26億円減益の193億円となりました。

米国での「ラジカヴァ」の発売が寄与したものの、薬価改定による減収、長期収載品やロイヤリティ収入の減収の影響に加え、後期開発へのステージアップやニューロダーム社の買収などによる研究開発費の増加等により、減益となりました。営業利益は、コア営業利益と同額の193億円(前年同期比△8.3%、17億円減益)となりました。

※当社グループは、国際財務報告基準(以下、IFRS)を適用しており、会社の経常的な収益性を示す段階利益として「コア営業利益」を導入し、経営管理等の重要指標と位置付けております。「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益(以下、非経常項目)を除外したものです。非経常項目は、事業譲渡による収益、構造改革費用、製品に係る無形資産の減損損失、災害による損失等であります。

## 【研究開発活動】

当第1四半期連結累計期間における研究開発費は196億円となり、売上収益に対する比率は18.7%となりました。当第1四半期連結累計期間の主な臨床開発活動の進捗状況は、以下のとおりです。

## 承認取得

- ・2018年6月、抗真菌剤「ジブリア」の爪白癬について、台湾で承認を取得しました。

## 承認申請

- ・MCI-186（エダラボン／米国製品名：ラジカヴァ）のALSについて、2018年4月にカナダで、同年5月に欧州で申請しました。
- ・2018年6月、MP-214（ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト）の統合失調症について、シンガポールで申請しました。

## 臨床試験の開始

- ・当第1四半期連結累計期間での臨床試験の開始はありません。

なお、2018年7月、MT-7117の赤芽球性プロトポルフィリン症について、第2相臨床試験を米国で開始しました。

## 導出品の状況

- ・2018年5月、FTY720（フィンゴリモド塩酸塩／製品名：ジレニア）の小児・多発性硬化症について、導出先のノバルティス社が米国で承認を取得しました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 【財政状態計算書】

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2018年3月末)	当第1四半期 連結会計期間末 (2018年6月末)	増減
非流動資産	462,096	469,516	+7,420
流動資産	585,525	563,830	△21,695
資産合計	1,047,621	1,033,346	△14,275
負債	152,794	132,541	△20,253
資本	894,827	900,805	+5,978
負債及び資本合計	1,047,621	1,033,346	△14,275

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前期末比142億円減少の1兆333億円となりました。前期末からの主な変動要因は以下のとおりです。

- ・非流動資産は、製品に係る無形資産の為替変動による増加、国内上場株式や年金資産等の公正価値評価による金融資産および退職給付に係る資産の増加等により、前期末比74億円増加の4,695億円となりました。
- ・流動資産は、法人所得税や配当金の支払などによる現金及び現金同等物の減少が、営業債権やその他の金融資産の増加を上回り、前期末比216億円減少の5,638億円となりました。
- ・負債は、未払法人所得税や営業債務の減少等により、前期末比202億円減少の1,325億円となりました。
- ・資本は、四半期利益の計上、為替換算調整勘定の増加、国内上場株式等の金融資産および年金資産の公正価値評価等による増加、剰余金の配当に伴う減少により、前期末比59億円増加の9,008億円となりました。

## 【キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
営業キャッシュ・フロー	7,760	609	△7,151
投資キャッシュ・フロー	△15,859	△7,488	+8,371
財務キャッシュ・フロー	△14,696	△14,530	+166
現金・現金同等物増減額	△22,592	△20,532	+2,060
現金・現金同等物期首残高	113,215	127,030	+13,815
現金・現金同等物四半期末残高	90,625	106,498	+15,873

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは205億円の支出となり、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は1,064億円となりました。

- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益の計上などの収入要因が、営業債権の増加、営業債務の減少、法人所得税の支払などの支出要因を上回り、6億円の収入となりました。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、手元資金の運用や設備投資などにより、74億円の支出となりました。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより、145億円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月9日に公表した第2四半期(累計)および通期業績予想は変更していません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上収益	107,708	105,351
売上原価	42,562	42,350
売上総利益	65,146	63,001
販売費及び一般管理費	24,421	23,188
研究開発費	18,090	19,648
製品に係る無形資産償却費	527	734
その他の収益	127	211
その他の費用	1,193	342
持分法による投資利益	8	4
営業利益	21,050	19,304
金融収益	1,014	478
金融費用	66	41
税引前四半期利益	21,998	19,741
法人所得税	5,585	6,631
四半期利益	16,413	13,110
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	16,981	13,959
非支配持分	△568	△849
四半期利益	16,413	13,110
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	30.27	24.89
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	24.89

## (2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期利益	16,413	13,110
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の 公正価値の純変動	1,198	1,193
確定給付制度の再測定	2,397	727
純損益に振り替えられることのない項目合計	3,595	1,920
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	929	5,400
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△7	△10
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	922	5,390
税引後その他の包括利益合計	4,517	7,310
四半期包括利益	20,930	20,420
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	21,221	21,203
非支配持分	△291	△783
四半期包括利益	20,930	20,420



## (3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	80,457	79,678
のれん	90,313	90,787
無形資産	200,940	205,896
持分法で会計処理されている投資	16,445	16,439
その他の金融資産	46,109	47,708
退職給付に係る資産	22,711	23,649
その他の非流動資産	379	372
繰延税金資産	4,742	4,987
非流動資産合計	462,096	469,516
流動資産		
棚卸資産	81,998	76,324
営業債権	123,537	124,225
その他の金融資産	246,733	249,243
その他の流動資産	6,227	7,540
現金及び現金同等物	127,030	106,498
流動資産合計	585,525	563,830
資産合計	1,047,621	1,033,346

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
借入金	420	381
その他の金融負債	2,199	2,216
退職給付に係る負債	868	884
引当金	8,571	8,049
その他の非流動負債	5,505	5,504
繰延税金負債	37,861	39,428
非流動負債合計	55,424	56,462
流動負債		
借入金	122	113
営業債務	35,631	28,882
その他の金融負債	20,737	18,730
未払法人所得税	18,093	7,241
引当金	1,934	3,209
その他の流動負債	20,853	17,904
流動負債合計	97,370	76,079
負債合計	152,794	132,541
資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	451,228	451,240
自己株式	△1,045	△1,046
利益剰余金	382,122	381,107
その他の資本の構成要素	503	7,020
親会社の所有者に帰属する持分合計	882,808	888,321
非支配持分	12,019	12,484
資本合計	894,827	900,805
負債及び資本合計	1,047,621	1,033,346

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動
2017年4月1日残高	50,000	451,187	△496	353,427	△4,666	11,101
四半期利益	—	—	—	16,981	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	652	1,198
四半期包括利益合計	—	—	—	16,981	652	1,198
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△15,707	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	2,510	—	△113
所有者による拠出及び所有者への配分合計	—	—	△1	△13,197	—	△113
新株の発行	—	—	—	—	—	—
子会社等に対する所有持分の変動額合計	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△1	△13,197	—	△113
2017年6月30日残高	50,000	451,187	△497	357,211	△4,014	12,186

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動
2018年4月1日残高	50,000	451,228	△1,045	382,122	△13,194	13,717
四半期利益	—	—	—	13,959	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	5,334	1,193
四半期包括利益合計	—	—	—	13,959	5,334	1,193
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
自己株式の処分	—	0	0	—	—	—
配当金	—	—	—	△15,701	—	—
株式報酬取引	—	12	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	727	—	—
所有者による拠出及び所有者への配分合計	—	12	△1	△14,974	—	—
新株の発行	—	—	—	—	—	—
子会社等に対する所有持分の変動額合計	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	12	△1	△14,974	—	—
2018年6月30日残高	50,000	451,240	△1,046	381,107	△7,860	14,910

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
確定給付制度の再測定	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計				
2017年4月1日残高	—	△48	6,387	860,505	10,925	871,430
四半期利益	—	—	—	16,981	△568	16,413
その他の包括利益	2,397	△7	4,240	4,240	277	4,517
四半期包括利益合計	2,397	△7	4,240	21,221	△291	20,930
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△15,707	—	△15,707
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△2,397	—	△2,510	—	—	—
所有者による拠出及び所有者への配分合計	△2,397	—	△2,510	△15,708	—	△15,708
新株の発行	—	—	—	—	1,085	1,085
子会社等に対する所有持分の変動額合計	—	—	—	—	1,085	1,085
所有者との取引額合計	△2,397	—	△2,510	△15,708	1,085	△14,623
2017年6月30日残高	—	△55	8,117	866,018	11,719	877,737

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
確定給付制度の再測定	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計				
2018年4月1日残高	—	△20	503	882,808	12,019	894,827
四半期利益	—	—	—	13,959	△849	13,110
その他の包括利益	727	△10	7,244	7,244	66	7,310
四半期包括利益合計	727	△10	7,244	21,203	△783	20,420
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	—	—	0	—	0
配当金	—	—	—	△15,701	—	△15,701
株式報酬取引	—	—	—	12	—	12
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△727	—	△727	—	—	—
所有者による拠出及び所有者への配分合計	△727	—	△727	△15,690	—	△15,690
新株の発行	—	—	—	—	1,248	1,248
子会社等に対する所有持分の変動額合計	—	—	—	—	1,248	1,248
所有者との取引額合計	△727	—	△727	△15,690	1,248	△14,442
2018年6月30日残高	—	△30	7,020	888,321	12,484	900,805

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	21,998	19,741
減価償却費及び償却費	2,821	2,897
受取利息及び受取配当金	△530	△440
持分法による投資損益(△は益)	△8	△4
営業債権の増減額(△は増加)	△9,359	△600
棚卸資産の増減額(△は増加)	4,730	6,062
営業債務の増減額(△は減少)	△8,097	△7,394
引当金の増減額(△は減少)	△116	669
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	13	24
その他	△361	△2,367
(小計)	11,091	18,588
利息の受取額	71	132
配当金の受取額	432	288
利息の支払額	△36	△41
法人所得税の支払額	△3,798	△18,358
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,760	609
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△75	△553
定期預金の払戻による収入	—	3,697
有形固定資産の取得による支出	△3,335	△1,275
無形資産の取得による支出	△3,180	△454
投資の取得による支出	△159,000	△107,029
投資の売却及び償還による収入	149,792	98,117
その他	△61	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,859	△7,488
財務活動によるキャッシュ・フロー		
非支配株主からの払込による収入	1,085	1,248
配当金の支払額	△15,707	△15,701
その他	△74	△77
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,696	△14,530
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	203	877
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△22,592	△20,532
売却目的で保有する資産への振替に伴う	2	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		
現金及び現金同等物の期首残高	113,215	127,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	90,625	106,498

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、各四半期における法人所得税費用は、年間の見積実効税率に基づいて算定しております。

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、以下の基準書を適用しております。同基準書の適用にあたり、経過措置として認められている累積的影響額を適用開始日に遡及的に認識する方法（修正遡及法）を採用しました。

IFRS	新設・改訂の概要
IFRS第15号 顧客との契約から生じる収益	収益認識に関する会計処理の改訂

当社グループは、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」（2014年5月公表）および「IFRS第15号の明確化」（2016年4月公表）（あわせて以下「IFRS第15号」という。）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

IFRS第15号の適用に伴い、IFRS第9号「金融商品」に基づく利息および配当収益等を除き、以下の5ステップを適用することにより収益を認識しております。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：取引価格を契約における履行義務に配分する。

ステップ5：履行義務の充足時に（または充足するにつれて）収益を認識する。

IFRS第15号の適用が当社グループの要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. 補足資料

## (1) 2018年度第1四半期(2018年4月～6月)連結決算について

## ① 損益状況

(単位:億円、億円未満切捨て)

	当第1四半期	前年同期比較			予想比較		主なポイント (前年同期比較)
		前第1四半期	増減額	増減率%	上期予想(注1)	進捗率%	
売上収益	1,053	1,077	△ 23	△ 2.2	2,100	50.2	国内医療用医薬品 △83億円 海外医療用医薬品 +70億円 ロイヤリティ収入等 △19億円 詳細は13ページ、主要製品売上収益を参照
国内	741	820	△ 79	△ 9.7	1,457	50.9	
海外	311	256	55	21.7	642	48.5	
海外売上比率	29.6%	23.8%			30.6%		
売上原価	423	425	△ 2	△ 0.5	840	50.4	薬価改定の影響等による売上原価率上昇
売上原価率	40.2%	39.5%			40.0%		
売上総利益	630	651	△ 21	△ 3.3	1,260	50.0	
販管費	231	244	△ 12	△ 5.0	500	46.4	
販管費比率	22.0%	22.7%			23.8%		
研究開発費	196	180	15	8.6	445	44.2	ニューロダームの子会社化に伴う増加など
研究開発費比率	18.7%	16.8%			21.2%		
製品に係る無形資産償却費	7	5	2	39.3	15	48.9	
その他損益(注2)	△ 1	△ 1	△ 0	-	-	-	
コア営業利益	193	219	△ 26	△ 12.2	300	64.3	
非経常項目(注2)	-	△ 9	9	-	△ 15	-	
営業利益	193	210	△ 17	△ 8.3	285	67.7	
金融収益	4	10	△ 5	△ 52.9			
受取利息・受取配当金	4	5	△ 0	△ 17.0			
為替差益	0	1	△ 1	△ 94.4			
その他	0	2	△ 2	△ 90.6			
金融費用	0	0	△ 0	△ 37.9			
税引前四半期利益	197	219	△ 22	△ 10.3	290	68.1	
法人所得税	66	55	10	18.7			
四半期利益	131	164	△ 33	△ 20.1	185	70.9	
親会社の所有者に帰属する四半期利益	139	169	△ 30	△ 17.8	195	71.6	
総人件費	175	182	△ 7	△ 4.2	370	47.3	

(注1) 2018年5月9日に公表した2018年度業績予想

(注2) 費用・損失の場合に△表示しております。

為替レート	当第1四半期 平均レート	前第1四半期 平均レート	2018年度 想定レート
米ドル	109.53	111.42	105.00
ユーロ	129.01	124.26	130.00

\*当第1四半期において、為替レートの変動により、売上収益で3億円の減収、コア営業利益で2億円の減益影響がありました。

## ② 主要製品売上収益

(単位:億円、億円未満切捨て)

	当第1四半期	前年同期比較			予想比較	
		前第1四半期	増減額	増減率%	上期予想(注1)	進捗率%
国内医療用医薬品	716	799	△ 83	△ 10.4	1,412	50.7
レミケード	151	168	△ 16	△ 9.9	284	53.2
シンボニー	90	75	14	19.5	172	52.2
テネリア	44	46	△ 1	△ 4.2	84	53.3
ステラーラ	2	-	2	-	49	4.2
レクサプロ	34	31	2	9.2	64	52.9
セレジスト	24	30	△ 5	△ 19.0	48	50.9
クレメジン	17	17	△ 0	△ 3.2	35	48.4
カナグル	14	14	0	2.8	36	40.9
タリオン	14	40	△ 25	△ 64.3	35	40.6
ルパフィン	1	-	1	-	12	13.9
メインテート	14	29	△ 15	△ 52.4	27	51.9
ワクチン	88	68	19	29.1	143	61.5
インフルエンザ	△ 1	△ 0	△ 0	-	13	-
テトラビック	22	23	△ 1	△ 5.9	45	48.9
水痘ワクチン	14	14	△ 0	△ 2.5	28	50.0
ミールビック	33	15	17	110.3	29	114.2
田辺製薬販売取扱品(注2)	-	34	△ 34	△ 100.0	-	-
海外医療用医薬品	129	59	70	118.1	292	44.3
ラジカヴァ	64	-	64	-	141	45.1
ヘルベッサ	16	15	1	12.2	34	48.3
アルガトロバン	5	4	0	17.4	11	49.9
シンボニー	4	4	0	6.4	10	48.0
ロイヤリティ収入等	185	204	△ 19	△ 9.6	354	52.2
ジレニア ロイヤリティ	153	145	7	5.4	非開示	-
インヴォカナ ロイヤリティ	24	36	△ 11	△ 30.7	非開示	-
一般用医薬品	12	11	0	3.8	23	50.5
その他(注3)	10	1	8	537.3	16	62.2
売上収益合計	1,053	1,077	△ 23	△ 2.2	2,100	50.2

(注1) 2018年5月9日に公表した2018年度業績予想

(注2) 当社は2017年10月1日付で田辺製薬販売の全株式をニプロに譲渡いたしました。

(注3) 他社製品の製造受託品等



## ③ 四半期業績推移(損益計算書)

(単位:億円、億円未満切り捨て)

	2017年度					2018年度		
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	上期予想 (注1)	通期予想 (注1)
売上収益	1,077 24.8%	1,056 24.4%	1,259 29.0%	945 21.8%	4,338 100.0%	1,053 24.2%	2,100 48.3%	4,350 100.0%
国内	820 25.6%	786 24.5%	946 29.5%	655 20.4%	3,208 100.0%	741 24.3%	1,457 47.8%	3,047 100.0%
海外	256 22.7%	269 23.9%	313 27.7%	290 25.7%	1,129 100.0%	311 23.9%	642 49.4%	1,302 100.0%
売上原価	425	419	497	355	1,697	423	840	1,760
売上原価率	39.5%	39.7%	39.5%	37.6%	39.1%	40.2%	40.0%	40.5%
売上総利益	651 24.7%	637 24.1%	762 28.9%	590 22.3%	2,641 100.0%	630 24.3%	1,260 48.6%	2,590 100.0%
販管費	244 23.5%	270 26.0%	261 25.2%	264 25.4%	1,040 100.0%	231 23.0%	500 49.5%	1,010 100.0%
研究開発費	180 22.9%	182 23.1%	197 25.0%	229 29.0%	790 100.0%	196 23.3%	445 52.7%	845 100.0%
製品に係る無形 資産償却費	5 21.5%	5 21.5%	6 27.1%	7 29.9%	24 100.0%	7 24.5%	15 50.0%	30 100.0%
その他損益(注2)	△ 1 -	△ 1 -	3 -	△ 0 -	0 -	△ 1 -	- -	△ 5 -
コア営業利益	219 28.0%	177 22.6%	299 38.2%	88 11.3%	785 100.0%	193 27.6%	300 42.9%	700 100.0%
営業利益	210 27.2%	158 20.5%	316 40.9%	88 11.4%	772 100.0%	193 28.8%	285 42.5%	670 100.0%
税引前(四半期)利益	219 27.9%	155 19.8%	326 41.5%	85 10.8%	787 100.0%	197 29.2%	290 43.0%	675 100.0%
親会社の所有者に帰属 する当期(四半期)利益	169 29.3%	128 22.2%	222 38.4%	58 10.1%	579 100.0%	139 29.7%	195 41.5%	470 100.0%

※ 各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

(注1) 2018年5月9日に公表した2018年度業績予想

(注2) 費用・損失の場合に△表示しております。

## ④ 四半期業績推移(主要製品売上収益)

(単位:億円、億円未満切捨て)

	2017年度					2018年度		
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	上期予想 (注1)	通期予想 (注1)
国内医療用医薬品	799 25.9%	773 25.0%	923 29.8%	597 19.3%	3,093 100.0%	716 24.2%	1,412 47.7%	2,962 100.0%
レミケード	168 26.0%	161 24.9%	182 28.2%	135 20.9%	646 100.0%	151 27.2%	284 51.2%	555 100.0%
シンボニー	75 23.5%	77 24.2%	92 28.6%	76 23.7%	321 100.0%	90 25.7%	172 49.2%	350 100.0%
テネリア	46 26.7%	46 26.8%	58 33.4%	22 13.1%	175 100.0%	44 26.3%	84 49.4%	170 100.0%
ステララ	- -	0 6.9%	0 18.9%	2 74.2%	3 100.0%	2 1.4%	49 32.8%	151 100.0%
レクサプロ	31 24.5%	31 24.3%	36 28.8%	28 22.4%	127 100.0%	34 25.9%	64 49.1%	131 100.0%
セレジスト	30 28.3%	26 23.9%	31 28.8%	20 19.0%	108 100.0%	24 26.5%	48 52.1%	93 100.0%
クレメジン	17 26.9%	15 24.3%	17 26.8%	14 22.0%	65 100.0%	17 20.2%	35 41.7%	84 100.0%
カナグル	14 25.9%	12 21.7%	17 30.8%	12 21.6%	56 100.0%	14 19.5%	36 47.7%	76 100.0%
タリオン	40 23.7%	39 23.2%	47 28.3%	41 24.8%	169 100.0%	14 19.4%	35 47.8%	73 100.0%
ルパフィン	- -	- -	6 158.4%	△ 2 △ 58.4%	4 100.0%	1 2.5%	12 18.2%	68 100.0%
メインテート	29 28.8%	26 25.1%	30 29.6%	17 16.4%	103 100.0%	14 26.6%	27 51.4%	53 100.0%
ワクチン	68 19.5%	76 21.7%	154 44.0%	51 14.7%	350 100.0%	88 24.2%	143 39.3%	365 100.0%
インフルエンザ	△ 0 △ 0.3%	11 11.4%	90 91.4%	△ 2 △ 2.5%	99 100.0%	△ 1 △ 1.0%	13 11.7%	112 100.0%
テトラビック	23 26.7%	20 23.9%	22 25.6%	20 23.7%	87 100.0%	22 24.1%	45 49.4%	91 100.0%
水痘ワクチン	14 27.4%	12 23.8%	13 25.6%	12 23.1%	52 100.0%	14 25.7%	28 51.3%	55 100.0%
ミールビック	15 31.3%	13 26.3%	12 24.3%	9 18.0%	50 100.0%	33 59.2%	29 51.9%	55 100.0%
田辺製薬販売 取扱品(注2)	34 51.4%	32 48.6%	- -	- -	66 100.0%	- -	- -	- -
海外医療用医薬品	59 15.4%	80 20.9%	117 30.5%	128 33.3%	385 100.0%	129 21.2%	292 47.8%	611 100.0%
ラジカヴァ	- -	11 9.5%	52 42.9%	58 47.6%	123 100.0%	64 20.3%	141 45.0%	315 100.0%
ヘルベッサ	15 23.1%	16 25.4%	15 24.2%	17 27.3%	65 100.0%	16 23.3%	34 48.3%	72 100.0%
アルガトロバン	4 23.0%	5 25.3%	6 31.0%	4 20.8%	20 100.0%	5 25.0%	11 50.2%	22 100.0%
シンボニー	4 24.4%	4 25.4%	4 25.5%	4 24.7%	18 100.0%	4 23.0%	10 47.9%	21 100.0%
ロイヤリティ収入等	204 25.9%	191 24.2%	199 25.2%	196 24.8%	791 100.0%	185 26.5%	354 50.7%	698 100.0%
ジレニア ロイヤリティ	145 25.3%	149 25.8%	152 26.5%	129 22.4%	577 100.0%	153 -	非開示 -	非開示 -
インヴォカナ ロイヤリティ	36 25.7%	36 26.3%	38 27.6%	28 20.4%	139 100.0%	24 -	非開示 -	非開示 -
一般用医薬品	11 31.1%	10 27.0%	9 26.4%	5 15.5%	37 100.0%	12 27.7%	23 54.8%	43 100.0%
その他(注3)	1 5.3%	0 3.1%	9 32.7%	17 58.9%	30 100.0%	10 30.6%	16 49.3%	33 100.0%
売上収益合計	1,077 24.8%	1,056 24.4%	1,259 29.0%	945 21.8%	4,338 100.0%	1,053 24.2%	2,100 48.3%	4,350 100.0%

※ 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) 2018年5月9日に公表した2018年度業績予想

(注2) 当社は2017年10月1日付で田辺製薬販売の全株式をニプロに譲渡いたしました。

(注3) 他社製品の製造受託品等

## (2) 新製品開発状況について(2018年7月27日現在)

## ① 自己免疫疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
FTY720 イムセラ/ジレニア (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (小児・多発性硬化症)	欧州 申請(2017年11月)	ノバルティス(スイス) に導出
MT-5547	完全ヒト型抗ヒトNGFモノクローナル抗体製剤 (変形性関節症)	日本 フェーズ 2/3	リジェネロン(米)から導入
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(乾癬)	欧州 フェーズ 2	
	(クローン病)	日本、欧州 フェーズ 2	
MT-7117	皮膚科用剤 等 (赤芽球性プロトポルフィリン症)	米国 フェーズ 2	自社創製品
MT-2990	炎症・自己免疫疾患 等	フェーズ 1	自社創製品

## ② 糖尿病・腎疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア 申請(2017年8月)	自社創製品
	(心血管疾患の既往がある、または心血管疾患リスクがある2型糖尿病における死亡リスク低減(CANVAS/CANVAS-R))	米国 申請(2017年9月) 欧州 申請(2017年10月)	ヤンセンファーマシューティカルズ(米) に導出
	(糖尿病性腎症)	日本、米国、欧州他 フェーズ 3 国際共同治験	自社創製品 治験依頼者: ヤンセン リサーチ アンド デベロップメント(米)
MP-513 (テネリグリプチン臭化水素酸塩 水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア 申請(2015年4月)	自社創製品
		中国 フェーズ 3	
		欧州 フェーズ 2	
MT-6548 (バダデュスタット)	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤 (腎性貧血)	日本 フェーズ 3	アケビア(米)から導入
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
		日本 フェーズ 2	
	(非アルコール性脂肪性肝炎)	日本 フェーズ 2	

## ③ 中枢神経系疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MCI-186 ラジカット/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症)	スイス 申請(2017年12月)	自社創製品
		カナダ 申請(2018年4月)	
		欧州 申請(2018年5月)	
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	韓国 申請(2017年12月)	ゲデオンリヒター(ハンガリー) から導入
		台湾 申請(2017年12月)	
		シンガポール 申請(2018年6月)	
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	米国、欧州 フェーズ 3	ミネルバ・ニューロサイエンス (米)へ導出
MT-5199	小胞モノアミントランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本 フェーズ 2/3	ニューロクラインバイオサイエ ンズ(米)から導入
Wf-516	モノアミンレセプターに対する多重作用* (大うつ病)	米国、欧州 フェーズ 2	ミネルバ・ニューロサイエンス (米)へ導出
MT-8554	神経系用剤 等 (糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(更年期に伴う血管運動神経症状)	米国 フェーズ 2	
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ/パッチ製剤 (パーキンソン病)	米国、欧州 フェーズ 2	自社創製品
MP-124	神経系用剤	フェーズ 1	自社創製品
ND0701 (アポモルフィン)	持続皮下注投与ポンプ (パーキンソン病)	フェーズ 1	自社創製品
MT-1186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症/新投与経路)	フェーズ 1	自社創製品

\*選択的セロトニン取り込み阻害/セロトニン1A受容体拮抗/ドパミン取り込み阻害/ $\alpha$ 1Aと $\alpha$ 1Bアドレナリン受容体の調節

## ④ ワクチン

治験コード	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-2355	5種混合ワクチン (小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、 急性灰白髄炎およびHib感染の予防)	日本 フェーズ 3	阪大微生物病研究会(日)と 共同開発
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米国、欧州、カナダ他 フェーズ 3	自社創製品
MT-8972	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ フェーズ 2	自社創製品
MT-7529	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	フェーズ 1	自社創製品
MT-5625	植物由来VLPワクチン (ロタウイルス胃腸炎の予防)	フェーズ 1	自社創製品

## ⑤ その他疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
バリキサ (バルガンシクロビル 塩酸塩)	抗サイトメガロウイルス化学療法剤 (小児・臓器移植におけるサイトメガロウイルス感染症 の発症抑制)	日本 申請(2018年2月)	エフ・ホフマン・ラ・ロシュ (スイス)より導入
MT-4580 オルケディア (エボカルセト)	カルシウム受容体作動剤 (副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機能亢進症に おける高カルシウム血症)	日本 フェーズ 3	協和発酵キリン(日) に導出
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (喘息)	韓国 フェーズ 2	サマファーマ(韓) に導出
Y-803	BRD阻害剤 (がん)	欧州、カナダ フェーズ 2	メルク(米)に導出
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	血液および体液用剤	フェーズ 1	自社創製品
MT-0814	眼科用剤	フェーズ 1	自社創製品
MT-4129	循環器官用剤 等	フェーズ 1	自社創製品
MT-2765	循環器官用剤 等	フェーズ 1	上海医薬集団(中) と共同研究

## 2017年度決算発表からの変更点

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	前回発表	2018年7月27日 現在	起源/導出先等
FTY720 イムセラ/ジレニア (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的 アンタゴニスト (小児・多発性硬化症)	米国 申請(2017年11月)	米国 承認(2018年5月)	ノバルティス(スイス) に導出
ジュブリア (エフィナコナゾール)	抗真菌剤 (爪白癬)	記載なし	台湾 承認(2018年6月)	科研製薬(日) より導入
MCI-186 ラジカット/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症)	記載なし	欧州 申請(2018年5月)	自社創製品
MP-214 (カリプラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	記載なし	シンガポール 申請(2018年6月)	ゲデオンリター (ハンガリー)から導入
MT-7117	皮膚科用剤 等 (赤芽球性プロトポルフィリン症)	フェーズ 1	米国 フェーズ 2	自社創製品
MT-5625	植物由来VLPワクチン (ロタウイルス胃腸炎の予防)	記載なし	フェーズ 1	自社創製品
ND0801 (ニコチン/オピプラモール)	経皮剤 (中枢神経系疾患に伴う認知障害)	イスラエル フェーズ 2	削除 (開発中止)	自社創製品